

日本共産党松江市委員会機関紙

# 新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

## 物価高騰から市民の暮らしまもれ 中国電力は危険な原発止めよ 国は大軍拡やめ憲法守れ

### 12月議会傍聴のご案内

松江市議会12月定例会は2日に開会。8日から10日の3日間一般質問が行われます。党松江市議団の登壇予定と項目は以下の通りです。ぜひ傍聴におでかけください。

#### ○たちばなふみ市議

##### 12月8日 代表質問5番目

1. 高市政権発足・台湾発言、労働時間規制緩和
2. こどもの権利・いじめ不登校と教員の働き方
3. 島根原発で燃料棒検査中に事故
4. 誰ひとり取り残さない地域公共交通を
5. 中海と特産品の振興
6. 松江市の火災予防
7. 水道料金市民負担増やめよ

#### ○佐野みどり市議

##### 12月10日 9人中7番目

1. 不登校支援について
2. 農業支援について
3. 介護保険制度について

#### ○樋野伸一市議

##### 12月10日 9人中9番目

1. 歯科医療体制の確保と市民の口腔健康向上について
2. 介護保険未納者への対応
3. 島根原発について



11月21日、日本共産党中国ブロック一斉宣伝で、松江市

では尾村利成、大国陽介の両県議、たちばなふみ、樋野伸一、佐野みどりの各市議、党島根県委員会の亀谷優子常任委員が、まちかどから訴えました。



尾村県議は高市早苗首相の「台湾有事は存立危機事態になり得る」との国会答弁にふれ、安保法制で自衛隊の武力行使が可能となると指摘。また、高市首相が「非核三原則」



の見直しを指示していることについて「島根県非核平和宣言に関する決議」（2008年、島根県議会）に反するものであり、平和を壊す高市政権と厳しく対決し、9条をいかにした平和な島根、日本をつくる決意を述べました。

松江市議団3名は12月議会です市民の声を届けてがんばる決意を話しました。



### 燃料棒転倒を中電が説明 松江市議会 原発特別委員会

えました。

の中松江市は12月議会です水道料金とバス料金の値上げを予定している。今署名運動も行われている。皆さんご協力ください。一緒に暮らし守れの声をあげましょう」と訴え、島根原発での核燃料棒の転倒事故について「自ら決めたルールを守らない中国電力は、安全文化の醸成ができていない。危険な原発を運転する資格はない。今すぐ原発はストップを」と訴えました。

11月20日松江市議会島根原子力発電対策特別委員会が開かれ、10月20日に発生した「島根原子力発電所2号機での新燃料の転倒に係る原因と再発防止策」について中国電力から説明を受けました。

中国電力から三村島根原子力本部長、阿川島根原子力発電所所長、井田副本部長が出席し、冒頭本部長から「市民の皆さまに不安を与えている」と謝罪があり、新燃料の受取検査や当日の状況を時系列で説明があり「朝礼時には15名いたが、生体認証読取不良で1名が現場に入らず欠員となった」「受取検査は燃料メーカーの責任で行うもの」「中国電力社員が立ち会っていたが、役割が不明確であった」としました。

再発防止策として「転倒防止策の実施時に作業責任者の確認を必要とするポイントに設定した」など説明がありました。

たちばなふみ市議の質疑に対し、もとの転倒防止策が行われていれば事故は起こらなかったと答弁があり、たちばな市議は「そもそも自らが決めたルールが守られなかったものであれば手順書を見なおしても手順書が守られるのか疑問。安全最優先の文化はあるのか。企業体質の現れであり、市民の不安が高まっている。原発の運転をまかせざるわけにはいかない」「すぐに停止し、市民向け説明会を開くべき」と訴えました。その他にも「1人いなくてもできる作業だった」などの答弁に対し他の委員からも厳しい意見が相次ぎました。

